

あいち農産物生産流通レポート

平成29年7月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ コチョウラン栽培の冷房コストを25%削減 (農業総合試験場)	1
◎ 地域トピックス	
・ 愛知県もも現地研究会が春日井市で開催されました (尾張農林水産事務所)	2
・ 安城梨のブランド化に関する取組について (西三河農林水産事務所)	3
◎ 東日本情報	
・ 都内に新たな農産物PR拠点が誕生 (東京事務所)	4
◎ フラワーページ	
・ 花育の取組について (園芸農産課)	6
◎ 青 果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し	10
◎ 花 き	
・ 切り花・鉢花の7月の見通し(県内市場)	22

※ 今月、「西日本情報」はありません。

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農作物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農作物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

コショウラン栽培の冷房コストを 25%削減

農業総合試験場

一年を通して需要があるコショウランは、高品質な花を周年出荷するために、冷房や暖房により施設内の温度を管理します。特に愛知県のような暖地では、夏の高温期には、開花まで5か月以上、昼温 25℃、夜温 18℃に施設内を冷房する必要があり、多大な冷房コストがかかります。

そこで農業総合試験場では、農林水産省の委託プロジェクト研究を活用して「コショウランの低コスト冷房処理技術の開発」に取り組み、新しい冷房技術「間欠冷房」を開発しましたので紹介します。

1 間欠冷房技術

「間欠冷房」は、毎日施設内を冷房する慣行の温度管理に対して、1週間のうち冷房日と無冷房日（換気のみ）を繰り返す冷房技術です。様々な組合せを試み、**5日間の冷房と2日間の無冷房（換気のみ）**を繰り返す組合せで、花幅が13cm以上、1茎あたり花数が11輪以上と、品質が慣行並になりました。さらに、出荷時期が慣行より1週間程度早まり、冷房コストは20%以上削減できました。

2 統合環境制御との組み合わせで冷房コストを25%以上削減

日長が長い5～9月の朝夕に遮光して日長時間を9～10時間にすると、コショウランの出荷時期は数日早まりました。併せて光、温度、湿度などを統合的に制御することにより冷房コストが5%以上削減できました。

植物の生育に係る環境因子を統合的に制御する統合環境制御に、「間欠冷房」を組み入れることで、冷房コストを従来の25%以上削減することが期待できます。

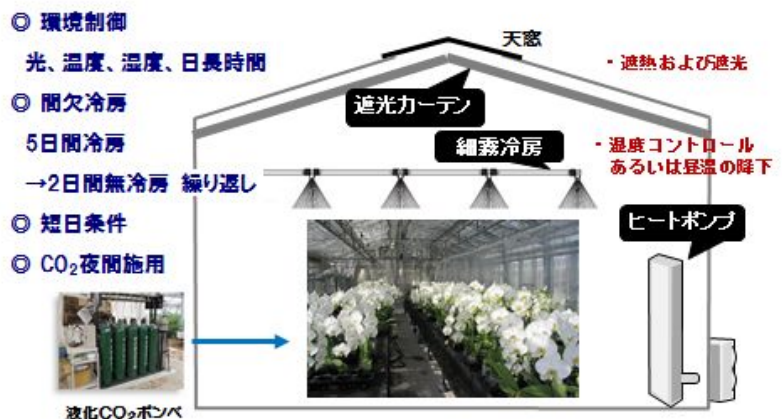
農業総合試験場ではこれら技術の実用化のため、民間企業と共同で、ヒートポンプの冷房にあわせ、換気窓やカーテン類を自動開閉する統合環境制御装置の改良を行うなど、「間欠冷房」の自動制御化を可能にしました。

3 今後の展開

今後は、生産農家の所得向上を図るため、開発した「低コスト冷房処理技術」の効果を生産現場で検証し、低コスト冷房処理技術の普及を図る予定です。

また、コショウラン以外の鉢物花きや他の施設園芸品目でも本技術の適用拡大を目指します。

コショウラン栽培における統合環境制御のイメージ



愛知県もも現地研究会が春日井市で開催されました

尾張農林水産事務所

平成 29 年 6 月 6 日(火)に春日井市・小牧市で、もも栽培における農業所得及び生産技術の向上を目的として、愛知県果樹振興会主催の「愛知県もも現地研究会」が開催されました。JA尾張中央試験園と生産者園地の視察、JA尾張中央地域環境共生ネットワークセンターでの産地紹介と講演会が行われ、県内もも生産関係者 98 名が参加しました。

1 園地視察

視察園の経営及び栽培概要について尾張農林水産事務所農業改良普及課の普及指導員が説明しました。その後、現地を見ながら、園地の状況や産地の栽培サポーター制度についての質疑応答がされたほか、生産者同士の情報交換も行われました。



園地視察の様子

2 産地紹介

春日井市のもも生産の状況について普及指導員が説明しました。主な説明内容については、以下のとおりです

- ・生産者数は 50 戸で、栽培品種は「ちよひめ」や「日川白鳳」、「白鳳」、「愛知白桃」が中心。
- ・販売は、直売やJA尾張中央春日井中央店及び味美支店のグリーンセンターに出荷。
- ・平成 27 年に大型直売場「JA尾張中央ファーマーズマーケットぐうびいひろば」がオープンし、地域農業と消費者の接点として期待されている。



研究会の様子

3 講演

始めに、岡崎市の稲・大豆生産者で6次産業化に取り組む(有)小久井農場の小久井正秋会長による「直売所の魅力を高める『見える化』と新商品開発」をテーマにした講演がありました。講演では、販売のポイントとして、客が喜ぶ「おいしいもの、安全なもの、品質が良いもの」を販売すること、ターゲットの客層に好まれるデザインを考えることなどが挙げられました。また、心に付随して体は動くため、考えることや気付きが大切であると話されました。

次に、愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病虫害防除室の西本浩之主任専門員による「モモにおけるカイガラムシの防除対策」の講演がありました。あいち病虫害情報の活用を勧めるとともに、発消長の確認と初期防除の重要性について話されました。

参加者からは、小久井農場の堆肥作りや農機のメンテナンス、カイガラムシの効果的な防除方法について質問がされ、「栽培を行う際の参考になった。」「今回の講演内容をもとに病虫害防除に努めたい。」といった感想がありました。

安城梨のブランド化に関する取組について

西三河農林水産事務所

安城市では、明治時代から梨栽培が始まり、「安城梨」として親しまれてきました。今回は、JAあいち中央梨生産部会による「安城梨」のブランド化の取組について紹介します。

1 優良品種「甘ひびき」の栽培拡大

平成22年に品種登録された「甘ひびき」は、「愛甘水」をもとに部会員の猪飼孝志さんが育成した梨です。800g以上の大玉で、甘みが強く、水分を多く含み、シャキシャキとした食感が特徴的です。収量も多く、病害虫にも強い品種です。

平成29年度は約1万2千玉の販売を計画しており、JAのファーマーズマーケットでんまあと安城西部店及び安城北部店、産直センター道の駅（デンパーク安城）の3店舗を中心に、主に贈答用として販売されています。今後も「甘ひびき」の栽培面積を拡大していく予定です。



甘ひびきの栽培状況

2 新選果機導入による選別の強化

JAあいち中央は、平成28年度に強い農業づくり交付金を活用し、選果機を整備しました。新選果機の特徴は、形状・糖度の選別精度が向上したほか、今まで目視で確認していた芯腐れ果やみつ症等の内部障害果を判別するため、内部品質センサーを導入しました。

選果機は、平成29年7月下旬から稼働予定で、市場や消費者に品質保証をアピールするとともに、多様化するニーズに対応した契約取引を推進し、販売単価を向上させ、生産者の経営安定を図っていきます。



今年から稼働する選果機

3 中部国際空港国際線内ショップでの販売

今年度の新たな取組として、安城梨の収穫期間（7月下旬～10月中旬）を通して、中部国際空港国際線内ショップ「centrair OISHII premium selection」で販売を行う予定です。

「centrair OISHII premium selection」は日本の優れた生鮮食品を世界に向け認知を拡大するためのブランドで、「松阪牛」、「蒲郡温室みかん」、「静岡クラウンメロン」などに続く取組です。安城梨も世界に向け、情報を発信していきます。



中部国際空港国際線内ショップ

都内に新たな農産物PR拠点が誕生

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

東京都内では、農産物の展示販売やイベントなどを行うことができるアンテナショップ、イベントスペースが相次いで開設されています。

平成29年4月にはJA東京中央会がイベント・セミナースペース「JA東京アグリパーク」を、同5月にはJA全農がアンテナショップ「いちごいちえ」を開設し、産地のPR活動や農産物の魅力の紹介をしています。

1 イベント・セミナースペース「JA東京アグリパーク」

JA東京アグリパークは、JR新宿駅から徒歩4分に立地するJA東京南新宿ビル内に設けられたイベント・セミナースペースで、東京の農林水産業の情報発信拠点としてオープンしました。利用者数日本一を誇る新宿駅から徒歩圏内の好立地であり、平日はサラリーマンやOL、休日は観光客など、幅広い客層に対してPRすることができます。

本施設は、東京都内の農林水産物のPR展示や試食販売などのイベントを行う拠点として設置されましたが、東京都内の団体等に限らず、全国の各産地がPRイベントを実施できることが特徴です。これまでに都内のJAによる農業体験や特産物紹介のほか、都外では熊本県や新潟県などの関係団体が産地紹介、農産物販売といったイベントを開催しています。

なお、本施設で5月23日（火）から28日（日）の6日間にかけて実施されたトマトのPRイベント「日本トマトフェスタ」（主催：日本トマト振興協会）では、26日（金）及び27日（土）にJA豊橋の高糖度ミニトマト「あまえぎみ」やJA愛知みなみのアイコ、JAひまわりのミニトマトなどが試食、販売されました。



店舗の外観



「日本トマトフェスタ」の様子

2 アンテナショップ「いちごいちえ」

「いちごいちえ」は、東京都千代田区大手町の大手町カンファレンスセンター地下1階に開設したアンテナショップです。ビジネス街である大手町の地下という立地もあり、主な客層はサラリーマンやOLなど、近隣地域の就業者が中心となります。このため、営業日は平日のみで、高級フルーツのギフト販売などに力を入れていることが特徴です。

本施設では、“都心と農村の交流の場づくり”を目的として、農産物の販売だけでなく、生産者や産地のこだわりを紹介する映像コーナーや柑橘類の香り比べ体験コーナーなど、五感を使って農産物の魅力を紹介する工夫がなされています。

また、全国JAグループから選抜した農産加工品を「JAオールスターズ」として販売しており、国産農産物の価値や魅力をPRしています。「JAオールスターズ」の商品は、店頭に加えてネットでも購入することが可能です。

さらに、全国の産地と連携して季節に応じた「産地フェア」が開催され、第1回の長崎県フェアに始まり、7月3日（月）から14日（金）にかけての第6回では、山梨県フェアとして桃やぶどうなどが販売されています。



店内の様子



柑橘類の香り比べコーナー
(7月現在は撤去)

3 都心の農産物PR拠点

「JA東京アグリパーク」や「いちごいちえ」は、ともに都心の一等地で農業に特化したイベントを行うことができる貴重な場所です。大消費地である都心で農産物をPRすることは、需要拡大や知名度向上などの点で大きな意味を持つと考えられます。

両施設では、これからも全国各地の産地PRが行われる予定であり、今後ともその動向を注視したいと思います。

花育の取組について

園芸農産課

1 花育について

「花育」とは、花や緑に親しみ育てる機会を通じて、子どもたちのやさしさや美しさを感じる気持ちを育むことであり、知識や体験を最も盛んに吸収する児童期において実施することが望ましいとされています。また、子どもの頃に花に触れる経験をした人は、大人になってから花を購入する頻度が高くなることから（平成22年園芸農産課調べ）、花育は将来の花の需要拡大に有効と考えられ、県では花育に関する様々な取組を行っています。

2 花育教室について

(1) 小学校における花育教室

県では、生産、流通、小売、消費等の団体とともに「花の王国あいち県民運動実行委員会」を組織し、平成25年度から小学校における花育教室を実施しています。

平成28年度は、42校・2,471人を対象に、フラワーアレンジメント教室（20校）、花壇作り教室（8校）、寄せ植え教室（14校）を実施しました（表1）。

表1 小学校での花育教室実施状況

年度	実施校数	実施人数
H25	20校	1,404人
H26	18校	1,360人
H27	26校	1,621人
H28	42校	2,471人

(2) あいち花フェスタ2016における花育教室

平成28年11月25日（金）から27日（日）にかけて、「あいち花フェスタ2016」が弥富市総合社会教育センターで開催されました。同フェスタにおいて、26日と27日の2日間、フラワーアレンジメント教室と寄せ植え教室を実施しました。花育教室には合計79人の方が参加しました。

(3) 地域における花育教室

生産者等が主体となり、県内各地において花育教室を実施しました（表2）。

表2 県内各地での花育教室実施状況

地域	主体	期日・場所	内容・参加人数
尾張	稲沢市花き振興会	平成29年3月15日（水） 稲沢市目比町地内	バラの収穫・ラッピング体験 18人
知多	J Aあいち知多 花き協議会	平成28年10月15日（土） 平成28年11月21日（月） 武豊町内小学校2校	花壇苗の鉢上げ・移植体験 194人
	美浜町花き園芸組合	平成28年9月 ～平成28年10月 3日間 美浜町内小学校6校	花壇苗の鉢上げ・移植体験 180人
西三河	西尾幡豆 カーネーション部会	平成28年4月21日（木） ～22日（金） 西尾市内保育園12園	フラワーアレンジメント 443人

東三河	ひまわり農協 花き連合	平成 28 年 5 月 21 日 (土) ～22 日 (日) 豊川市市民球場	フラワーアレンジメント 215 人
	ひまわり農協 花き連合	平成 28 年 12 月 10 日 (土) 平成 29 年 2 月 12 日 (日) グリーンセンター豊川	フラワーアレンジメント 60 人
	愛知みなみ農協 営農協議会	平成 28 年 6 月 ～平成 29 年 2 月 6 日間 田原市内小学校 6 校	フラワーアレンジメント 294 人



フラワーアレンジメント



花壇作り



寄せ植え

3 花育ティーチャーターの登録・派遣について

花の王国あいち県民運動実行委員会では、花育を効率的かつ効果的に実施するため、花育ティーチャーターを登録し、花育活動の指導・支援を希望する利用者の要請に応じて派遣しています。花育ティーチャーターは、花や緑に関する各種団体や生産者・試験研究等の経験のある者、また日頃から花育活動を実施している者を対象とし、資格の有無は問いません。現在は、12 団体、46 個人が登録しています。

4 その他の取組について

県内の小中学校等を対象とした学校花壇コンクール(フラワー・ブラボー・コンクール)を実施し、参加校に対して、発芽や苗の育成などに関する技術的助言を行うとともに、教育委員会の審査員が、花壇作りにおける教育面での利活用をアドバイスしています(表3)。

表3 フラワー・ブラボー・コンクールの実施状況

年度	実施校数	うち小学校	うち中学校
H11	127 校	102 校	25 校
H21	122 校	92 校	30 校
H27	142 校	110 校	32 校
H28	141 校	110 校	31 校
H29	134 校	104 校	30 校



学校花壇

5 今後の取組について

平成 29 年度も、小学校やイベント等において花育教室を実施するとともに、花育ティーチャーターを随時登録・派遣し、花育を推進していきます。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：アールスメロン）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
28年実績	1, 4 2 9	2 8 7 (20%)	8 3 6	5 4 6	静岡 (38%) 熊本 (14%) 高知 (14%)
29年見通し	1, 3 5 0	—	8 8 0	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>県産は8月の盆に向けて入荷量が増加するが、栽培面積は年々減少しており、全体的な入荷量は減少する見通し。他県でも静岡などのブランド化された地域を除いて、トマトなどの他品目への転換が進み、全国的に栽培面積が減少傾向にある。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>			<p>県産の入荷量が多い夏時期を含め、ギフト向けとしての需要が高いため、他の作目以上に高い品質という点を意識して、栽培管理と出荷調整をお願いしたい。 また、栽培面積の減少に伴い、年々入荷量が減少傾向にあるが、需要の高い時期に必要な量が確保できるよう計画的な作付けをお願いしたい。</p>		

○ 東京都中央卸売市場（品目：とうがん）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	愛知産	前年の主な他産地 (上位3産地)
28年実績	2, 6 3 3	8 8 1 (33%)	1 3 4	1 5 0	神奈川 (19%) 静岡 (18%) 沖縄 (16%)
29年見通し	2, 6 0 0	—	1 3 0	—	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
<p>前年は、静岡、茨城、本県が出荷を伸ばし、総入荷量は前々年をかなり上回った。価格は高値だった前々年を下回った。 5月までの入荷量は前年をやや上回り、生育は各産地ともおおむね良好である。特に4月の出荷量が多く、単価は前年同月を下回っている。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>			<p>スマホの普及でレシピ検索が容易となり、ネット上のレシピも豊富な状況にあるなか、一般家庭向け利用方法について積極的な提案を量販店等に行い、売場で紹介してほしい。 愛知県産については品質に問題なく、これまで通り、形や色を揃えるなど高品質の保持に努めてほしい。</p>		

名古屋・東京市場における青果物の7月の見通し

名古屋市中央卸売市場

6月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	29,793	219	208	213	198	長野 27%
	25年	30,327	204	237	239	210	北海道 11%
	26年	29,589	213	221	215	210	群馬 10%
	27年	28,893	262	257	266	267	愛知 9%
	28年	28,282	252	254	261	245	
	5ヵ年平均	29,377	230	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	28,300	246	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>長野、北海道、群馬、愛知などから入荷する。ここまで低温と干ばつ傾向が続いており、気温の上昇に伴い栽培を終える冬春産地の出荷期間が延長し、市場に荷が残る可能性も考えられる。 入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>							
だいこん	24年	1,820	76	81	80	75	青森 60%
	25年	1,746	91	118	83	83	北海道 28%
	26年	1,557	76	78	78	78	岐阜 9%
	27年	1,442	117	126	133	107	長野 2%
	28年	1,349	121	147	133	101	
	5ヵ年平均	1,583	94	108	99	88	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,400	110	110	110	110	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道を中心に岐阜などから入荷する。青森は年々作付面積が減少しているほか、本年は6月中旬現在までの入荷量が少なく、一部の入荷が7月にずれ込む見通し。北海道は7月の入荷に向けて生育順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	24年	1,603	163	241	166	120	青森 64%
	25年	1,672	124	157	115	105	北海道 33%
	26年	1,644	119	136	116	117	千葉 1%
	27年	1,554	147	117	124	199	
	28年	1,484	165	127	169	200	
	5ヵ年平均	1,591	143	156	137	147	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,500	140	140	140	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森を中心に北海道などから入荷する。6月の主産地である岐阜から青森、北海道に切り替わるが、岐阜では資材費高騰の影響で播種量が減り、6月の入荷量が減少している。また、北海道は生育が遅れ気味。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

6月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	24年	123,363	217	224	215	212	群馬 16%
	25年	127,083	250	267	251	234	長野 15%
	26年	127,260	229	238	227	223	茨城 12%
	27年	122,865	274	262	289	274	青森 9%
	28年	119,621	265	266	276	253	千葉 8%
	5ヵ年平均	124,038	247	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	125,000	250	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>東北以北、高冷地産で低温や干ばつの影響を受けた品目が多かったが、6月下旬以降は回復に向かっている。7月も大きな天候の崩れがなければ、入荷量は回復すると見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高値だった前年をやや下回る見込み。</p>							
だいこん	24年	8,703	70	76	68	68	北海道 49%
	25年	8,952	90	117	78	80	青森 46%
	26年	9,212	76	81	72	74	群馬 2%
	27年	9,437	108	121	116	94	岩手 1%
	28年	8,283	119	149	122	96	神奈川 1%
	5ヵ年平均	8,917	92	108	91	82	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	7,900	110	110	105	115	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>北海道、青森からの入荷が中心となる。青森は作業遅れや地温が上がらない影響により平年作を下回る見通し。北海道は低温によりやや遅れがあるものの回復すると見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>							
にんじん	24年	6,291	149	185	152	115	青森 52%
	25年	6,753	124	137	117	115	北海道 23%
	26年	6,895	114	121	109	112	千葉 22%
	27年	6,843	134	110	114	189	中国 2%
	28年	6,133	150	110	157	191	
	5ヵ年平均	6,583	134	132	129	144	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	6,100	120	110	120	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
<p>青森、北海道、千葉からの入荷がほとんどを占める。東北以北の産地で低温による遅れがあるが7月は回復基調となる。6月に降雨の続いた北海道を除き、各産地とも平年並の出荷が計画される。 入荷量は前年並。価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

6月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	24年	1,865	50	64	51	51	長野 98% 愛知 2%
	25年	1,529	84	79	83	107	
	26年	1,650	64	78	59	64	
	27年	1,413	83	80	77	98	
	28年	1,673	53	54	59	56	
	5ヵ年平均	1,626	66	70	65	73	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,500	60	60	60	60	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	長野からの入荷が主体となる。6月中旬現在の長野の作況は、干ばつ傾向により肥大が進まず、一部ではアンコ（芯腐れ）症状も発生。今後降雨があれば入荷量が増加するが、現状では厳しい見通し。入荷量は前年をかなり下回り、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。						
キャベツ	24年	4,259	57	61	57	59	群馬 57% 長野 26% 茨城 9%
	25年	3,839	105	111	98	108	
	26年	4,227	72	81	66	75	
	27年	4,009	95	92	86	107	
	28年	4,136	77	75	82	80	
	5ヵ年平均	4,094	81	83	77	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,000	80	90	80	70	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	群馬、長野を中心に、茨城などから入荷する。作況は低温と干ばつの影響でやや生育の遅れが見られるが、おおむね順調。7月中旬から入荷量が増加し、下旬にピークを迎える見通し。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。						
ほうれんそう	24年	226	600	622	576	598	岐阜 84% 茨城 6% 静岡 3% 愛知 3%
	25年	204	702	871	646	621	
	26年	183	617	569	667	662	
	27年	183	709	677	701	725	
	28年	182	701	714	748	673	
	5ヵ年平均	196	664	691	663	652	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	190	660	700	660	650	
ん	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	岐阜の高冷地ものを中心に入荷する。岐阜では6月の入荷量が減少する見通しだが、原因は5月上旬の作付が少なかったため、7月の入荷は回復すると思われる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。						

東京都中央卸売市場

6月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
はんぱい	24年	5,669	50	55	45	51	長野 90% 群馬 9% 茨城 1%
	25年	5,834	88	76	82	107	
	26年	5,955	66	75	57	63	
	27年	5,783	81	76	71	95	
	28年	5,783	54	54	54	53	
	5ヵ年平均	5,805	68	67	62	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	5,800	70	70	70	70	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。主力の長野は低温・少雨の影響が見られるものの、おおむね順調な仕上がり。入荷のペースは緩やかだが、今後の気温の上昇、降雨により増えるの見込まれる。 入荷量は前年並。価格は安値だった前年を大幅に上回り平年並となる見込み。</p>					
<p>長野、群馬からの入荷がほとんどを占める。主力の長野は低温・少雨の影響が見られるものの、おおむね順調な仕上がり。入荷のペースは緩やかだが、今後の気温の上昇、降雨により増えるの見込まれる。 入荷量は前年並。価格は安値だった前年を大幅に上回り平年並となる見込み。</p>							
キヤベツ	24年	15,032	51	57	48	49	群馬 72% 岩手 14% 長野 5% 茨城 3% 千葉 2%
	25年	16,344	97	106	86	100	
	26年	16,028	69	80	66	64	
	27年	15,612	91	89	82	99	
	28年	16,232	73	73	75	70	
	5ヵ年平均	15,850	77	81	72	77	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	16,000	70	80	65	65	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬を中心に岩手などから入荷する。群馬は低温、干ばつの影響をほとんど受けず順調。ピーク期は海の日頃からを見込む。岩手はやや遅れるも、順調だった前年並の出荷が見込まれる。 入荷量は前年並。価格も前年並だが過去に数年続いた高値には及ばない見込み。</p>					
<p>群馬を中心に岩手などから入荷する。群馬は低温、干ばつの影響をほとんど受けず順調。ピーク期は海の日頃からを見込む。岩手はやや遅れるも、順調だった前年並の出荷が見込まれる。 入荷量は前年並。価格も前年並だが過去に数年続いた高値には及ばない見込み。</p>							
ほうれんそう	24年	1,074	513	492	447	618	群馬 27% 茨城 23% 栃木 22% 岩手 13% 岐阜 6%
	25年	923	671	754	609	646	
	26年	972	617	552	640	677	
	27年	990	660	589	717	698	
	28年	923	618	640	612	602	
	5ヵ年平均	976	613	601	602	648	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	950	620	640	610	610	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬など関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。各産地とも低温、干ばつの影響をうけやや遅れているものの、7月全体の入荷量は前年、平年並と見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>					
<p>群馬など関東高冷地と岩手からの入荷が中心となる。各産地とも低温、干ばつの影響をうけやや遅れているものの、7月全体の入荷量は前年、平年並と見込まれる。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

6月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	740	384	408	380	愛知 24% 茨城 16% 静岡 14% 大分 12%	
	25年	713	422	410	452		424
	26年	685	386	403	407		376
	27年	651	464	466	493		468
	28年	589	463	470	517		451
	5ヵ年平均	676	422	424	452	418	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	650	450	450	450	450	
ぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、茨城を中心に入荷する。白ねぎは大分、静岡、鳥取などが中心となる。九州産は徐々に入荷が終了し、北海道から夏ねぎも入荷されるが、北海道では低温による生育遅れが見られる。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>						
し	24年	2,488	110	113	126	長野 99%	
	25年	2,508	177	198	206		153
	26年	2,780	151	154	150		164
	27年	2,409	189	159	200		221
	28年	2,384	134	139	146		133
	5ヵ年平均	2,514	152	153	163	159	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,500	150	140	150	160	
ス	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>長野が主体の入荷となる。標高の高い高冷地が主産地となるが、6月中旬現在の作柄は順調。7月の入荷物は大き玉傾向で推移する見通し。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>						
きゅうり	24年	1,404	257	275	249	長野 63% 北海道 19% 愛知 4% 山形 4%	
	25年	1,335	295	331	290		275
	26年	1,396	247	249	254		244
	27年	1,242	296	295	323		280
	28年	1,316	325	354	347		280
	5ヵ年平均	1,339	283	300	292	265	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,300	300	350	330	270	
り	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>7月上中旬は長野中心で、中下旬からは東北、北海道の入荷が始まる。6月中旬現在は、低温の影響で長野からの入荷が少ない。東北は生育順調で、7月中下旬以降は入荷量が安定する見通し。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

6月29日現在

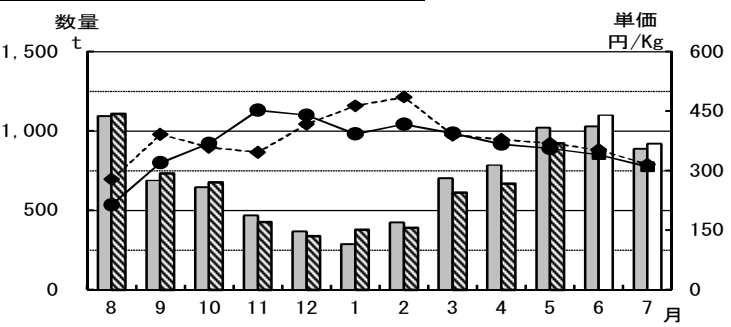
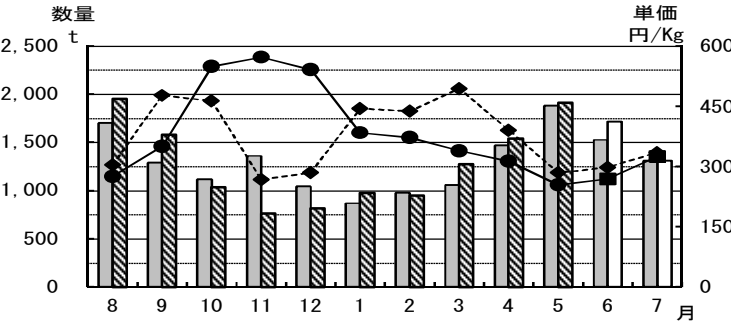
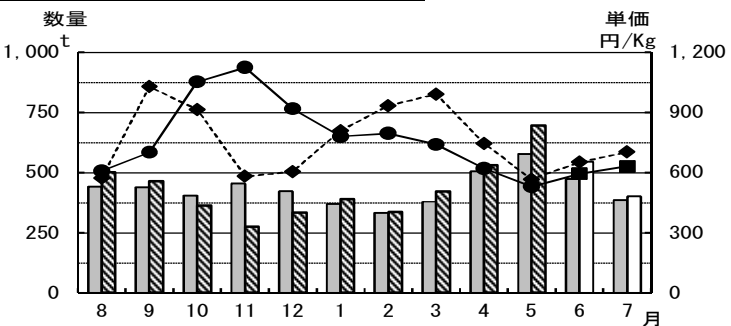
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	24年	4,517	328	331	365	290	茨城 59%
	25年	4,456	412	410	438	386	千葉 14%
	26年	4,338	379	427	372	339	埼玉 5%
	27年	4,313	483	535	493	433	中国 5%
	28年	4,263	450	477	504	384	秋田 4%
	5ヵ年平均	4,377	410	435	434	366	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	4,300	430	450	390		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に千葉、埼玉などからの入荷となる。乾燥の影響から太物の発生が少ないとの懸念もあるが今後の降雨次第。生育は良好で、入荷は平年には及ばないものの前年を上回ると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
しそ	24年	9,610	107	100	104	107	長野 83%
	25年	9,630	186	200	201	157	群馬 13%
	26年	9,647	132	157	159	172	岩手 2%
	27年	9,064	197	164	207	219	
	28年	10,020	130	131	136	123	
	5ヵ年平均	9,594	150	150	161	155	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	9,800	140	140	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野を中心に群馬、岩手からの入荷となる。主力の長野は6月が低温と干ばつにより小玉となったが、7月は降雨の予報もあり回復が見込まれる。病害虫の発生も少なく、天候次第で入荷増も見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
きゅうり	24年	7,868	224	230	212	230	福島 38%
	25年	7,592	279	280	268	289	岩手 12%
	26年	7,736	209	216	218	199	秋田 11%
	27年	7,343	268	250	291	264	山形 7%
	28年	6,835	324	366	355	262	群馬 5%
	5ヵ年平均	7,475	259	266	266	248	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	6,700	280	280	280		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>福島、岩手など東北産地からの入荷に切り替わる。夜温が低い東北の増量ペースが鈍く、切り上がりの産地との端境が生じることで、若干の品薄感が残るが、気温上昇により解消されると見込まれる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

6月16日現在

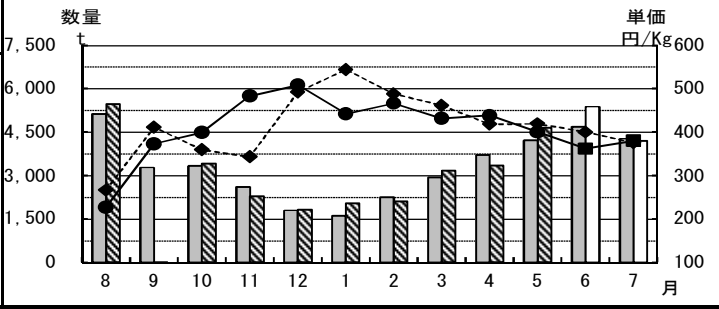
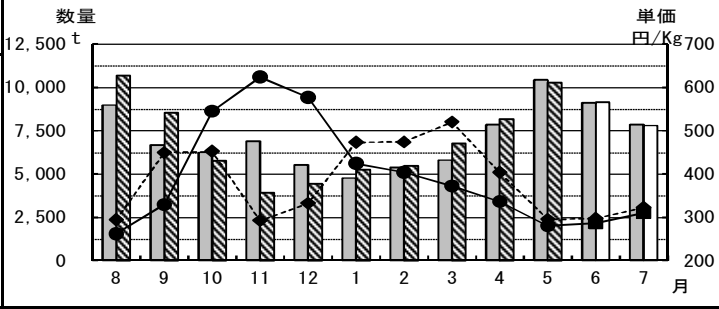
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	24年	1,005	300	294	316	300	愛知 40%
	25年	969	276	333	275	238	徳島 17%
	26年	947	271	260	279	279	山梨 15%
	27年	931	337	332	380	322	宮崎 7%
	28年	889	318	315	320	321	
	5カ年平均	948	300	307	314	291	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	920	310	310	310	310	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、山梨、徳島が入荷の中心となる。夏秋なすは、定植時期である4月前半の気温が低く入荷が出遅れ気味だが、気温の上昇に伴い入荷量が増加する見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
ト マ ト	24年	1,402	318	325	320	317	岐阜 37%
	25年	1,247	363	376	375	344	愛知 25%
	26年	1,442	300	296	317	293	北海道 19%
	27年	1,451	311	302	358	295	長野 5%
	28年	1,308	335	330	349	333	
	5カ年平均	1,370	324	324	343	315	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,310	325	325	325	325	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
岐阜、愛知、北海道の夏秋トマトが中心となる。夏秋産地の生育状況は順調で、安定した入荷が期待される。春トマトの産地は7月に入り徐々に終了する見通し。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに下回る見込み。							
ミ ニ ト マ ト	24年	349	622	618	614	635	愛知 41%
	25年	346	670	673	787	558	北海道 37%
	26年	388	560	541	554	582	茨城 7%
	27年	409	610	542	643	633	長野 7%
	28年	384	701	623	786	715	
	5カ年平均	375	632	597	675	626	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	400	630	600	650	650	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道を中心に入荷する。熊本が7月上旬に終了し、愛知産が中下旬から増加する。北海道は生育順調だが、低温で入荷量が減る可能性もある。中旬は、産地の切り替わりにより単価が上昇する見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。							

東京都中央卸売市場

6月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な な	24年	4,479	341	354	355	320	群馬 29%
	25年	4,553	337	414	304	307	茨城 25%
	26年	4,731	308	327	337	266	栃木 24%
	27年	4,474	369	422	439	297	埼玉 4%
	28年	4,273	372	393	378	348	千葉 3%
	5ヵ年平均 29年見通し	4,502 4,200	345 380	381 390	362 390	307 360	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木、群馬、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。西南暖地が減少する中、関東産は低温、干ばつの影響で増加ペースが鈍い。着果状況等は良好のため、今後の天候次第で入荷量は増えと見込まれる。入荷量は前年並で、価格は前年をわずかに上回る見通し。</p>						
ト マ ト	24年	8,874	301	307	295	301	青森 14%
	25年	8,167	353	369	343	353	北海道 12%
	26年	8,707	300	317	310	281	栃木 11%
	27年	8,934	297	306	345	268	千葉 10%
	28年	7,861	322	301	333	332	岩手 7%
	5ヵ年平均 29年見通し	8,509 7,800	314 310	320 320	325 320	306 290	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ト マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>東北、北海道からの入荷が本格化し、関東と併せて入荷の中心となる。これまでの低温、乾燥により小玉傾向の産地が散見されるが、各産地とも生育はおおむね順調であり回復が見込まれる。入荷量は少なかった前年並。価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
ミ ニ ト マ ト	24年	1,434	561	566	591	533	茨城 24%
	25年	1,606	587	566	683	511	福島 14%
	26年	1,726	537	506	568	540	青森 11%
	27年	1,823	558	506	601	577	北海道 10%
	28年	1,606	658	560	718	687	愛知 8%
	5ヵ年平均 29年見通し	1,639 1,700	579 600	539 550	631 650	570 600	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
ミ ニ ト マ ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>青森、北海道からの入荷が本格化し、千葉、愛知は終盤に入る。乾燥により灌水が上手く行えない一部のほ場で、花数、樹勢への影響が見られるが、おおむね生育は順調である。入荷量は前年をやや上回り、価格は高値となった前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

6月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	480	303	282	355	324	茨城 31%
	25年	398	435	441	516	411	北海道 24%
	26年	526	295	326	318	263	岩手 19%
	27年	446	446	388	481	492	
	28年	408	421	378	445	422	
	5ヵ年平均	452	374	359	416	376	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	400	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、北海道、岩手を中心に入荷する。6月中旬現在は茨城などが中心だが、茨城は7月上旬頃に終了。北海道、岩手の入荷が6月下旬から始まり、7月中下旬にピークを迎える。 入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ばれいしょ	24年	1,566	89	86	103	86	静岡 36%
	25年	1,536	126	85	166	132	北海道 16%
	26年	1,554	136	142	150	146	長崎 14%
	27年	1,690	244	296	287	218	青森 13%
	28年	1,403	188	214	204	182	
	5ヵ年平均	1,550	157	166	183	153	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,480	160	160	160	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>静岡を中心に、北海道、長崎、青森などからの入荷となる。静岡は干ばつにより小玉傾向。北海道は7月下旬から入荷が始まる見通しで、生食向けの作付面積は減少しているものの、本年の生育は順調。 入荷量は前年をやや上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>					
たまねぎ	24年	3,412	64	63	64	67	兵庫 77%
	25年	3,245	129	131	127	130	愛知 15%
	26年	3,688	82	81	82	85	北海道 3%
	27年	3,626	110	107	110	112	中国 3%
	28年	3,636	154	154	155	156	
	5ヵ年平均	3,521	108	107	108	110	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	3,600	150	150	150	150	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫を中心に、愛知などから入荷する。愛知は7月上旬に終了し、その後は淡路島産が中心となる。6月中旬現在の入荷量はやや少ないが、7月には順調な入荷となる見通し。 入荷量は前年並で、価格は高かった前年をわずかに下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

6月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	24年	2,018	248	220	273	254	茨城 57%
	25年	1,911	417	433	474	331	岩手 25%
	26年	2,099	284	313	287	247	福島 6%
	27年	1,900	412	345	461	445	青森 5%
	28年	1,792	416	378	455	414	高知 2%
	5ヵ年平均	1,944	352	336	386	334	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	1,800	370	370	380	360	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城、岩手、福島からの入荷が中心となる。茨城の作型移行期、東北の生育遅れにより前半の増量ペースは鈍い。後半は気温上昇に伴い入荷量が増加する見通し。 入荷量は前年並。価格は高値だった前年をかなり下回る見込み。</p>
白菜	24年	5,473	88	92	90	81	茨城 37%
	25年	5,528	147	129	147	171	千葉 21%
	26年	5,899	136	132	138	140	静岡 16%
	27年	5,627	229	264	243	182	北海道 8%
	28年	5,613	173	180	174	164	長崎 7%
	5ヵ年平均	5,628	155	160	159	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	5,300	130	130	130	130	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>茨城、千葉、静岡、長崎からの入荷が中心となる。九州産は上旬でほぼ終了する。各産地とも玉伸びが悪く小玉傾向。続く北海道産は後半からだ。出方は天候次第となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年を大幅に下回る。</p>
たまねぎ	24年	8,312	142	145	139	143	兵庫 39%
	25年	9,915	89	86	89	91	佐賀 10%
	26年	9,198	120	115	119	127	中国 9%
	27年	9,262	163	153	172	164	香川 9%
	28年	8,086	171	154	178	180	群馬 6%
	5ヵ年平均	8,955	135	129	138	139	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,700	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							<p>兵庫、佐賀、香川からの入荷が中心となる。前年、病害の発生で出荷量を減らした佐賀は、入荷量を倍増させるも平年作に及ばず回復途上。全体の予想入荷量は前年を上回るが、平年を下回る見通し。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回る見込み。</p>

名古屋市中央卸売市場

※アールスメロンの旬別単価は、データが存在しないため表示しない。

6月16日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	10,411	364	368	326	335	愛知 13%
	25年	11,166	319	351	336	340	長野 13%
	26年	10,541	345	351	336	340	フィリピン 12%
	27年	9,121	400	385	391	421	山形 9%
	28年	8,411	430	405	424	461	
	5ヵ年平均	9,930	368	370	359	374	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	8,500	400	—	—	—	
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、長野、フィリピン、山形などから入荷する。品目はすいか、ももなどが中心となる。低温と干ばつによる果実肥大不足や入荷の遅れが懸念されたが、6月中旬の入荷量はおおむね前年並となった。入荷量は前年並で、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
アーメロン	24年	250	568	—	—	—	愛知 50%
	25年	256	584	—	—	—	静岡 37%
	26年	250	537	—	—	—	高知 9%
	27年	227	583	—	—	—	茨城 3%
	28年	197	668	—	—	—	
	5ヵ年平均	236	585	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	190	680	—	—	—	
メロン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>愛知、静岡が入荷の中心となる。7月に入り愛知産の入荷が増加するが、栽培面積は年々減少しており、全体の入荷量は減少する見通し。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						
すいか	24年	3,511	136	148	130	133	長野 24%
	25年	3,783	156	166	150	159	石川 23%
	26年	3,732	123	131	109	133	愛知 17%
	27年	2,767	140	120	123	182	山形 16%
	28年	2,603	192	172	183	224	
	5ヵ年平均	3,279	147	147	137	162	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	29年見通し	2,600	150	—	—	—	
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>石川、長野、愛知、新潟などが入荷の中心となる。低温傾向だが、開花・受粉時の天候が良好だったこともあり、6月上旬及び中旬の入荷量は前年を上回る状況。7月の入荷量は前年並で、価格は高かった前年を大幅に下回る見込み。</p>						

東京都中央卸売市場

6月28日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	24年	38,687	339	367	338	316	山梨 16%
	25年	39,489	362	398	351	340	山形 15%
	26年	39,571	354	422	345	349	千葉 9%
	27年	38,282	374	385	374	367	青森 7%
	28年	34,883	419	407	429	420	新潟 6%
	5ヵ年平均	38,182	370	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	38,000	370	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>すいか類、もも、メロン類を中心に入荷する。5月からの干ばつ傾向でメロン、すいかでは小玉傾向がみられたが、梅雨入りに伴い回復している。</p> <p>入荷量は東北・北海道で不作傾向がみられた前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						
アーメロン	24年	685	596	626	641	511	静岡 50%
	25年	714	668	750	683	535	千葉 14%
	26年	698	591	621	614	623	茨城 14%
	27年	660	672	717	653	631	高知 7%
	28年	582	740	777	780	649	山形 5%
	5ヵ年平均	668	653	698	674	590	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	650	700	720	700	680		
メロン	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>静岡、千葉、茨城を中心に入荷する。静岡は品質は良好で若干の大玉傾向がみられる。千葉は2L中心で上旬にピークを迎える見込み。茨城はオトメメロンからの切り替えが早く、7月は潤沢な入荷となる見込み。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高かった前年をやや下回る見込み。</p>						
すいか	24年	13,933	147	154	146	142	山形 24%
	25年	14,661	170	180	172	159	千葉 17%
	26年	14,695	140	153	138	134	新潟 16%
	27年	14,842	154	140	143	170	神奈川 15%
	28年	12,509	194	176	192	206	長野 10%
	5ヵ年平均	14,128	161	161	158	162	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
28年見通し	14,000	180	150	170	180		
いか	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>千葉、新潟に加え、中旬からは長野、山形からの入荷が本格化する。長野は生育・着果ともに順調で3L中心となる見込み。山形は春先の低温により生育遅れが懸念されたが、その後回復して平年並の入荷となる見込み。</p> <p>入荷量は少なかった前年をかなり上回り、価格は高かった前年をかなり下回る見込み。</p>						

切花・鉢花の7月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 6月30日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	24年	2,295	30	
		25年	2,203	46	
		26年	2,091	31	
		27年	2,088	39	
		28年	1,772	49	
	5ヶ年平均		2,090	39	
	29年見通し		1,900	40	
概要	愛知、三重、長野から入荷する。雨不足で露地物はやや短幹傾向にあるが、高冷地産の出荷も出そろってくる。新盆需要の動きも多少出てくるが、相場は業務主体の動きとなる。				
小 ぎ	実績	24年	2,095	21	
		25年	2,542	23	
		26年	2,408	15	
		27年	2,231	23	
		28年	1,739	31	
	5ヶ年平均		2,203	22	
	29年見通し		2,000	25	
概要	愛知、埼玉、奈良に加え、長野、岩手からの入荷も始まる。雨不足のため、平年より短めな物が多く、やや前進傾向。動きは軟調。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	24年	1,079	39	
		25年	1,210	45	
		26年	1,086	40	
		27年	1,139	44	
		28年	1,060	42	
	5ヶ年平均		1,115	42	
	29年見通し		1,100	42	
概要	長野、北海道から入荷する。今年は夜温が低かった影響で、若干遅れ気味のスタートとなったが、6月下旬から前年並になってきており、7月の一番花のピークも大きな山はなく、ある程度の単価で推移する見込み。				
か す み 草	実績	24年	114	66	
		25年	148	83	
		26年	120	84	
		27年	139	89	
		28年	126	88	
	5ヶ年平均		129	82	
	29年見通し		130	82	
概要	長野、福島から入荷する。やや遅れ気味で中旬以降増えてくる。七夕需要があり、前半は強めの動き。中旬以降は業務の動き次第であるが、厳しい販売となる。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	24年	440	134	
		25年	519	125	
		26年	404	125	
		27年	383	146	
		28年	325	156	
	5ヶ年平均	414	136		
29年見通し	380	145			
概要	<p>オリエンタルは新潟、北海道などから入荷。前半は暖地の残りも少しあり、やや多めの入荷で、厳しい販売となる。LAは新潟、埼玉から入荷。新潟は前半に山がある。東京盆地次第では中値安定販売。鉄砲は高知産から兵庫、愛媛産に代わる。入荷数は少ないが厳しい販売が予想される。</p>				
洋 ら ん	実績	24年	376	84	
		25年	423	94	
		26年	362	90	
		27年	392	92	
		28年	314	99	
	5ヶ年平均	373	92		
29年見通し	350	95			
概要	<p>愛知、静岡、鹿児島、輸入などから入荷する。6月中旬ごろから続いていたカトレアの入荷量の減少は徐々に回復傾向にある。輸入のコショウランも入荷は落ち着きを取り戻し、ある程度価格が回復すると思われる。シンビジュウムは輸入主体になり、単価も上昇傾向の見込み。</p>				
ば ら	実績	24年	863	46	
		25年	856	55	
		26年	783	44	
		27年	770	50	
		28年	770	44	
	5ヶ年平均	808	48		
29年見通し	800	46			
概要	<p>愛知、岐阜、和歌山、長野から入荷する。新産地の山形にも期待。三重産は夏休みになり、入荷量が多少緩和される。</p>				
枝 も の	実績	24年	1,898	39	
		25年	1,961	44	
		26年	1,753	41	
		27年	1,848	44	
		28年	1,610	46	
	5ヶ年平均	1,814	43		
29年見通し	1,700	45			
概要	<p>栽培物を中心に愛知、静岡、長野から入荷する。山取りのドウダンは人気が高く、堅調に推移し、新盆がらみでホオズキの引き合いも強そう。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	24年	29,574	1,036	
		25年	30,943	975	
		26年	24,000	958	
		27年	24,357	1,053	
		28年	21,512	1,136	
	5ヶ年平均		26,077	1,027	
	29年見通し		21,500	1,135	
概要	入荷量は昨年並か。作付けの大きな変更はなく、6号・4号サイズが主体で入荷する。MIXでの入荷が多いが、色別では赤・ピンクが主体で、時期的に白の引き合いが強いと思われる。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(98.7%)、2位岐阜(0.7%)、3位福岡(0.4%)となっている。				
フ ア レ ノ プ シ ス	実 績	24年	27,350	3,315	
		25年	29,433	3,364	
		26年	29,176	3,235	
		27年	25,346	3,528	
		28年	23,506	3,435	
	5ヶ年平均		26,962	3,369	
	29年見通し		25,000	3,300	
概要	入荷量は昨年より微増か。例年通りお中元需要があるので、ミディー系、大輪系を含めてしっかりと提案をしていきたい。また、店舗での滞在時間が長くなる可能性があること、温度帯が高くなり開花が早いことから、通常より蓄の数を増やした出荷を意識していただきたい。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(57.9%)、2位静岡(8.6%)、3位宮崎(5.1%)となっている。				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	24年	9,341	144	
		25年	15,028	121	
		26年	12,030	109	
		27年	14,415	126	
		28年	11,294	116	
	5ヶ年平均		12,422	123	
	29年見通し		11,000	118	
概要	入荷量は昨年並か。販売においては苦戦する見込み。予約商品、委託商品のより一層の良品出荷を望む。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位岐阜(66.3%)、2位愛媛(26.8%)、3位愛知(3.6%)となっている。				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
オ ン ジ ュー ム	実 績	24年	2,096	976	
		25年	2,408	647	
		26年	1,591	789	
		27年	1,688	616	
		28年	1,837	940	
	5ヶ年平均		1,924	793	
	29年見通し		1,800	800	
概要	<p>入荷量は昨年並かやや減少。7月に向けて気温が上がり開花が早まる時期なので、固めの出荷をお願いしたい。また、暑さにより株などに軟腐病が出るので注意が必要。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位長崎(38.0%)、2位愛知(35.2%)、3位高知(19.0%)となっている。</p>				
ス パ ティ フ ィ	実 績	24年	15,940	297	
		25年	14,607	274	
		26年	9,733	315	
		27年	10,594	340	
		28年	5,201	417	
	5ヶ年平均		11,215	313	
	29年見通し		5,200	415	
概要	<p>入荷量は昨年並か。5号～8号位の鉢サイズはお中元需要で必要になる。輪数を多く上げられるかが、販売のカギになる見込み。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重(52.0%)、2位愛知(31.5%)、3位岐阜(13.9%)となっている。</p>				
ド ラ セ ナ 類	実 績	24年	34,479	751	
		25年	30,614	847	
		26年	36,589	833	
		27年	28,200	736	
		28年	22,419	669	
	5ヶ年平均		30,460	775	
	29年見通し		22,000	682	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。愛知県産が中心ではあるが輸入原木の減少から主要品目が少ないと思われる。入荷数量が少ない分、平均単価は安定する見込み。 昨年7月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(64.3%)、2位鹿児島(7.4%)、3位沖縄(7.3%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.529
平成29年7月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434